

DPA

DOMINIQUE PERRAULT ARCHITECTURE

DOMINIQUE PERRAULT ARCHITECTURE/
ドミニクペローアーシテクチュール

住所： 6, rue Bouvier
75011 Paris FRANCE
TEL： +33 (0)1.44.06.00.00
FAX： +33 (0)1.44.06.00.01

プレス/コミュニケーション： presse@d-p-a.fr
日本対応：石塚菜々子（アーキテクト） nishizuka@d-p-a.fr
Web： www.perraultarchitecte.com/

プレスリリース 2010/09/27

この秋、ドミニク・ペローの建築についての貴重な洞察を日本で公開

フランスを代表する建築家の一人ドミニク・ペローが、東京オペラシティアートギャラリーの企画展に招かれることになった。「都市というランドスケープ」と題された展覧会が2010年10月23日から12月26日まで催される。フランスのポンピドーセンターで最初に行われたこの展示は、過去20年以上に渡るペローの建築を概観できるめったにない企画であり、ペローの主な高層ビルプロジェクトである大阪富国生命ビルの竣工とちょうど時期を同じくする。

ドミニク・ペローは1989年に36歳の若さでフランス国立図書館の国際コンペティションを勝ち取り、国際的な賞賛を集めた。彼の作品は、建築を現在進行形の歴史の一部として、いかに文化的、地理的な背景と結びつけるかという視点を持つのが特徴である。ペローはこのようなアプローチで、建築と芸術、自然が一体となった風景を創り出そうとしている。

オペラシティアートギャラリーの展覧会では、ペローが世界中で引き受けた23のプロジェクトが披露される。展示には、模型、写真、ビデオ、ドローイング、そしてインタビューが含まれている。

展覧会はフランス国立図書館に始まり、ベルリン競輪場&オリンピックプール、日本の十日町の能舞台、韓国ソウルの梨花女子大学、スペインのマドリードのオリンピックテニスセンター、さらに現在進行中のイタリア・サンペレグリーノの温泉浴場、オーストリア・ウィーンのDCタワー、西フランスにあるナント市のトマ・ドブレ博物館などの重要なプロジェクトを特集する。

さらに展覧会では、パリのペロー建築設計事務所のデザインによる照明などの品々がベールを脱ぐ。ペローは建物を覆うメタルメッシュをトレードマークとしているが、ここではそれが照明などに使われており、「オートクチュール」の効果を与えている。

特にこの展覧会では、建築と都市環境、自然環境の関わりに焦点を当てたペローの作品について考察する。

展示は、「都市の地理」「自然の周辺」「場所の発見」「スカイラインの風景」「地理の変換」と題された5つのセクションに分けられており、さまざまな建築上の条件や要求に対する建築家の視点や方針への綿密な洞察を提供している。

この展示のハイライトは10月25日完成予定の富国生命ビルである。延床面積68 500 m²の富国生命ビルのプロジェクトは、地面に根を張った巨木の形をしている。すそ広がりになったビルの輪郭は、立ち上がるかのようにエレガントに次第に細くなり、縦の漸近線を描いて都市のスカイラインに優美さを与えている。ビルの「樹皮」効果が構造の下部と上部のコントラストを強調する。下部の幅広のファサード「ウッドチップ」が徐々に、なめらかで途切れのない壁に取って代わる。ガラスのファサードは、空の色や周囲の風景を映しながら、基部で樹皮を髣髴とさせる鏡のクレッシェンドに溶け込んでいる。広いアトリウムである「富国生命の森」は、通りからも見えるようになっており、いろいろな花や植物で大阪駅の玄関口に緑の風景を創るだろう。

建築ジャーナル社より、ドミニク・ペロー自身によるスケッチ集「20プロジェクト」が同時期に出版される予定である。

経歴

ドミニク・ペロー（1953年生まれ）は世界中で、野心的で革新的なプロジェクトを展開してきた。彼の事務所、ドミニク・ペロー建築設計事務所は、フランスで最も大きい建築設計事務所の一つで、スペインとルクセンブルグにも事務所がある。

彼のプロジェクトは、ブルガリアのソフィアの65ヘクタールに渡る都心の新開発から、スイスのロカルノ・ムラートの重要地区の再開発、イタリアのサルerno採石場の再利用、スペインのマドリードのアルガンズエラ歩道橋、と広範囲に及ぶ。

ペローはここ数年で5つの大きなプロジェクトを提供した。EC裁判所（ルクセンブルグ）、オリンピックテニスセンター（マドリード）、二つの高級ホテルMe（バルセロナ）とNH（ミラノ）、そして韓国ソウルの名門、梨花女子大学である。

8月には第12回ベネチア建築ビエンナーレにてフランス館のキュレーターを務めた。彼のプロジェクト「メトロポリス？」は、フランスの4つの主要都市、ボルドー、ナント-サンナゼール、マルセイユ、リヨン、さらに「グランバリ」のワークショップの経験の上に立ち、構造物の存在しない空間、ボイドの持つ、政治的、経済的、社会的、さらには情緒的な重要性を主張しつつ、21世紀におけるメトロポリスの概念を考察するために設計された。

ペローは、ミース・ファン・デル・ローエ・ヨーロッパ建築賞（1997年）、建築グランプリ（1993年）、エケール・ダルジャン（1989年）などの数々の名立たる賞を獲得している。2010年AFEXグランプリを受賞したところであり、フランス建築アカデミーによる最も栄誉ある賞、グレートゴールドメダルにも輝いた。



© DPA / ADAGP

© Rui Morris de Sousa

© DPA / ADAGP

展覧会情報

東京オペラシティアートギャラリー
展示期間：2010年（H22年）10月22日から
2010年（H22年）12月26日まで
所在地：〒163-1403

東京都新宿区西新宿3-20-2

TEL： 03-5353-0756

FAX： 03-5353-0776

Web： www.operacity.jp/ag/exh/index_sch.php